

研究名：先天性心疾患術後の乳児における摂食障害の危険因子

1. 研究の目的

先天性心疾患（CHD）を持つ乳児は摂食障害のリスクが高く、心臓手術後の摂食障害は患者さんと家族の生活の質に悪影響を及ぼします。本研究の目的は、CHD の乳児において心臓手術後の摂食障害が起りやすくなる因子を見つけることです。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて2018 年 1 月から 2022 年 12 月までに心臓手術後に ICU に入室した1～11 か月の患者さん。
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2025 年 3 月 31 日まで
- ③ 研究方法：当院のカルテを用いて後方視的に研究を行います。年齢、性別、染色体異常の有無、手術時間、手術時間、術後経過、術後の経口摂取再確立までの期間、術後合併症などについての情報を収集し、術後摂食障害のリスク因子を調査します。

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、染色体異常の有無、手術時間、手術時間、術後経過、術後の経口摂取再確立までの期間、術後合併症 等

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年7月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 集中治療科 坪倉 慎

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7668）

E-mail: tsubokura-s@ncchd.go.jp

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 集中治療科 坪倉 慎